

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路区域線図作成事業			会計	款	項	目	大	小	
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課					
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	鈴木 和男					
					01	08	02	01	03	57

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	道路境界未確定のD I D地区における市道接道者	意図	道路境界査定により、道路と民地との境界を明確にして、道路区域線図（一連の道路境界確定図）を作成し、土地取引及び災害復旧に寄与する。
事業内容	・道路境界が確定していないD I D地区について、境界立会いを実施して道路区域線図を作成して管理する。			
事業開始から現在までの状況変化	・昭和63年度から平成13年度までは市単独事業で実施していたが、平成21年度より国、県の負担金事業として、南流山地区及び西初石4丁目地区を実施し、今年度は若葉台地区を実施した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		実施区域	21	8	11	ha	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・官民境界を確定させる事で、円滑な土地取引及び災害復旧に寄与できるが、個人の財産境界を確定させるため、理解を得るのが困難である。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		30,434,710	20,550,946	26,142,139			
事業費(b)(円)		6,529,110	2,962,946	4,921,139			
うち一般財源		2,479,110	775,946	1,276,139			
職員給与費(c)(円)		23,905,600	17,588,000	21,221,000			
人役・職員(人)		3.00	2.00	2.00			
人役・再任用(人)		1.00	1.00	2.00			
人役・臨職(人)		0.40	1.00	1.00			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性 コストの削減	A 対象者は適切である B 削減の余地がややある
総合評価	要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H27)の改善計画	・民間測量についても、地籍調査同等の成果扱いとなる旨をPRする。
今年度(H27)に実施した取組	・民間測量時に各種手続きにより、地籍調査同等成果になる旨をPRした。

取組の課題	・民間測量者は、手続きが煩雑になるため、地籍調査同等成果を望まなかった。
今後の改善計画	・民間測量者へ更なる周知を図りたい。その他、国県交付金が減少傾向にあるため、事業の設定を見直す。